

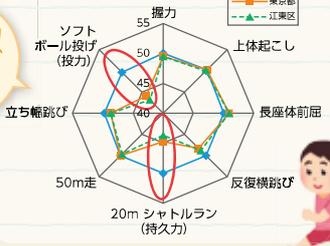
## チームことう

## 体力向上を目指して

### 体力スタンダードをもとに 1歩1歩前進

平成25年度  
東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果

小学校5年 女子



小学校5年 男子



中学校2年 女子



中学校2年 男子



持久力  
投力が  
課題

特に  
投力が  
課題

課題は「持久力」と「投力」

子どもたちが、心身共に調和の取れた成長をしていくために、体力の向上はたいへん大切なものです。

しかし、江東区のごもたちの体力の状況を、全国や東京都の平均と比較した結果、概ね東京都の結果と同様の傾向はあるものの、全国平均に対しては、下回るなど、体力の向上は本区のごもたちの課題となっております。

左のグラフは、昨年度の児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の江東区の結果

です。

全国平均を50とした場合、「持久力」は、小5男子で46.0、小5女子で43.72、中2男子46.98、中2女子47.46となっており、大きな開きが出ています。「投力」では、全国平均を50とした場合、小5男子で43.49、小5女子で43.05、中2男子で46.60、中2女子で44.30となっており、全国平均には及ばない状況となっております。

このため、平成25年度から、全ての学校で「体力スタンダード」への取り組みを通して、課題の克服を目指しています。

#### 取組1 学校の取り組み

東川小学校では、体育の授業でボール運動を積極的に導入し、教員の体育実技研修会や、やり投げの村上選手を招いて指導を受けるなど、投力の向上に取り組みました。この結果、小5男子のソフトボール投げで、前年と比べ平均2m50cm遠くへ投げることができるようになりました。また、亀戸中学校では、

#### 取組2 教員の指導力の向上

子どもたちが、楽しく体を動かし、進んで体力を向上する習慣を育てるためには、教員の指導力の向上が大切です。

教育課題研究校における体力スタンダードの指導方法の研究成果を、全ての学校で共有するとともに、体育実技研修会を通して、ごもたちを指導する学校の先生方が、実際に体を動かして、指導方法を改善につなげています。

#### 教員の指導力を高める研修

##### ● 体育実技研修会の充実 ●

表現運動をテーマにした小学校の先生の研修会では、思いを体で表現したり、リズムに合わせて踊ったりして、実際に体を動かす実技研修を実施し、授業力を高めています。



#### 体力スタンダードに基づいた取り組みの成果

##### 「投力」向上に向けた取り組み —東川小学校—



##### 「持久力」向上に向けた取り組み —亀戸中学校—



#### 取組3 江東区独自の特色ある取り組み

さらに、体力向上に向けた江東区全体の取り組みとして、KOTO☆キッズながわチャレンジ、オール小学校 長縄跳び大会、中学生東京駅伝大会、区独自の活動などがあります。

各学校のごもたちが、他校のごもたちと交流し、競い合いながら切磋琢磨する取り組みがしっかりと根付いています。

##### ● KOTO☆キッズながわチャレンジ

「3分間でどれだけ跳べるか」全ての小学校で、記録にチャレンジしています。

##### ● ことうこどもスポーツデー

「オール小学校 長縄跳び大会」を開催し、他の学校のごもたちと競い合います。

##### ● 中学生東京駅伝大会

夢の島陸上競技場で練習を積み重ね、東京駅伝に挑戦します。

##### ● 区独自の部活動

地域の特徴を生かした部活動で、ごもたちの可能性を伸ばしています。(女子サッカー部・セーリング部・カヌー部)



上位入賞をめざして駅伝チームの東京駅伝結団式

体力の向上には就学前の楽しい運動経験も重要です。家庭や地域の皆様と連携し、ごもたちの体力向上を目指してまいりますので、ご理解と協力をお願いいたします。

図指導室

TEL (3647) 9179

# さらなる学力の向上を目指して



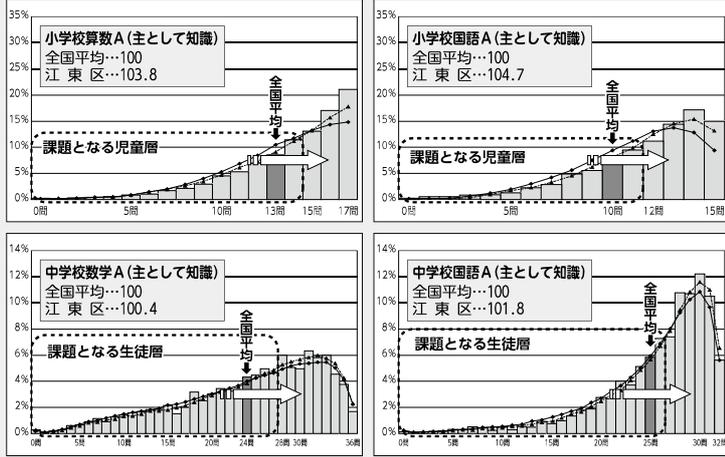
## 中位層・下位層のさらなる底上げが課題

平成26年4月22日に実施した「平成26年度全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。

この調査は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における指導方法や学習状況の改善に役立てることを目的としています。

調査対象は小学6年生と中学

## 平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果



上のグラフは本区の正答率の割合を示したものです。(縦軸が割合、横軸が正答数を表しています)

均を上回る安定した状況にあります。(Aは主として知識、Bは主として活用を指します)

これは、これまで各学校が調査結果の分析を行い、授業における改善点を明確にしたうえで「こうとう学びスタンダード」の着実な定着とともに、中位層、下位層のさらなる底上げに努めてきた成果であると考えています。

しかし、一人一人のこどもの学習状況を見ると、基礎的な学習の段階でつまずきのあることや、つまずいたまま、その先の学習に進めないこともなどの実態が、明らかになっています。

左のグラフの点線で囲んだ部分は、全国平均値の正答数を下回った集団を示しています。

この部分に当てはまるこどもたち一人一人の学習状況を分析し、学力を向上させていく手だてをどのように進めていくかが、今後の課題であり、下記の取り組みを着実に進めていきます。

**家庭で実践できること**

質問紙調査の結果の概要からは、普段(月々金曜日)、テレビゲーム(コンピュータゲーム、スマートフォンを使ったゲーム等も含む)や携帯電話、スマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短いほど平均正答率は高い傾向にあります。

日常の生活の中で、こどもたちのもつ能力をより伸ばすために家庭でも学習環境を整える等の協力をお願いいたします。

## 確実な学力向上に向けて

①こうとう学びスタンダードの徹底  
②授業改善支援チームの派遣  
③指導教諭による模範授業を通じた教員の指導力の向上等により学力の向上をしっかりと進めていきます。



### 取組3 指導教諭による模範授業

指導教諭は、高い専門性と優れた指導力をもつ教員です。今年度は、各小学校の代表教員が指導教諭の算数の模範授業から指導方法を学んでいます。その成果は、各学校で生かされ、区全体の指導力の向上に繋がっています。



### 取組2 授業改善支援チームの派遣

教員養成系大学と連携したチーム(大学教授、教職を目指す大学生、指導主事)を学校に派遣し、若手教員の授業観察・分析・指導を継続的に行い、指導力の高い教員を育成しています。



### 取組1 こうとう学びスタンダードの徹底

6種類のスタンダードを定着させるため、効果的な指導方法を各学校で研究し、教職員一丸となって取り組んでいます。また、学びスタンダード強化講師を活用し、一人一人のこどもに応じたきめ細かい指導を行っています。



図 指導室  
TEL (3647) 9179

## 中学生短期留学「カナダ」

平成26年度 中学校生徒海外短期留学が、7月19日(土)から29日(火)までの10泊11日間、カナダバンクーバー市等において行われました。各学校から代表生徒39名と、引率教員6名の計45名が参加し、現地において、ホームステイをしながら、語学研修や、体験学習など様々なプログラムにより、貴重な経験を積んできました。また、江東区の姉妹都市であるサレー市を表敬訪問し、親善大使として交流も図ってまいりました。将来、江東区を背負って、国際社会で活躍する若者が育っています。

優れた功績があった学校の先生や、学校活動を支援している団体・個人が表彰されました。

●東京都教育委員会職員表彰  
深井 誠一郎 第一書小学校校長  
井熊 豪 南陽小学校  
山下 智子 大島西中学校

●学校活動支援団体等に対する東京都教育委員会感謝状贈呈  
[宇校安全支援部門]  
高瀬 満明(第二島小学校推薦)  
[地域における児童・生徒の育成活動部門]  
江東区立第三砂町小学校後援会 (第三砂町小学校推薦)

●優良PTA文部科学大臣表彰  
江東区立南陽幼稚園父母と教師の会

●東京都功労者表彰  
●(福祉・医療・衛生功労) 畠 晃 香取小学校外8校・園 (学校医)

●東京都教育委員会表彰  
●(健康づくり功労) 船山 秀昭 深川第二中学校 (学校医)  
津田 義夫 亀高小学校 (学校医)

●大竹 徹 深川第六中学校 (元学校薬剤師)



図 指導室  
TEL (3647) 9179

●学務課給食保健係  
TEL (3647) 9177